

明倫の風

明倫小 校長室だより 第4号
平成27年11月6日(金)発行
校長 椿 義 憲

今の校舎が、いつまでも美しくあるように

3年生以上の皆さんが通っていた以前の明倫小学校の校舎は、今どうなっているのでしょうか。

現在、4つの建物のうち国道側の本館は、地震や風雨に耐えられるようにするために工事をしています。この工事は1年以上もかかり、平成29年(2017年)2月末まで続くそうです。また、残りの建物もこれから順に工事が行われる予定です。



以前の校舎は、昭和10年(1935年)10月から平成26年(2014年)3月(去年の3月)までの約78年間も使われました。

さて、今、私たちが生活している校舎は、去年の4月から使い始めています。まだ、1年7ヶ月しか経っていませんので、白木で木の香りがするとても新しく美しい状態です。

また、校長室や保健室がある真ん中の校舎や児童クラブや図書室がある北校舎は、昭和42年(1967年)にできたもので、もう48年が経っています。

これらの校舎は、これから40年も50年も使わなくてはなりません。何千人もの人が使っていきます。もしかしたら、皆さんの子どもや孫が使うようになるかもしれません。

そのためには、私たちは、この新しい校舎を大切に使い、今のような美しい状態を保たなくてはなりません。

一生懸命に掃除をして、汚れを落とし、

私たちの後に続く、明倫小学校の人たちに

引き継ぐ責任があります。校長先生は、今の校舎が、いつまでも美しくあるように、大切に使い、一生懸命に掃除をしてほしいと思います。



今の明倫小学校